

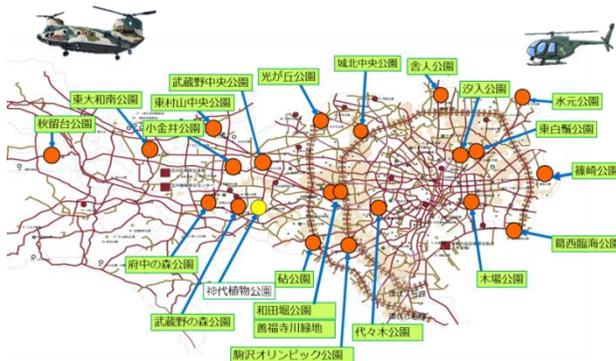
基本理念

人々の命を守る「首都東京のシンボルパーク」

本グループの公園は、震災時に自衛隊や消防・警察など広域支援・救助部隊のヘリコプターによる救出救助活動を行うための「大規模救出救助活動拠点」等に指定されている21公園で構成されており、いざというときに人々の命を守る「避難場所」等としての役割も担っています。

また、首都東京を代表する大規模公園として、水と緑のネットワークの拠点となり、東京の風格のある都市景観を形成する公園でもあり、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機として国内外の人々を率先して「おもてなし」することも期待されています。

私たちは本グループの公園を『人々の命を守る「首都東京のシンボルパーク」』という基本理念に基づき、管理運営を進めてまいります。



基本理念実現のための取組方針

取組方針1 防災対応力の強化

<大規模救出救助活動拠点の確保>

- 都や自衛隊等との密接な協議により、ヘリポートを確保する体制を強化

<避難場所としての取組>

- 地元区市との間の防災協力協定等による、地域防災対応力の向上
- 地元区市、警察、消防との協力関係を活かした地域防災体制の強化
- 地域住民と連携した防災訓練等を実施し、地域の「共助力」を向上



<防災体制の強化>

- 「震災対応マニュアル」の更新・充実、防災対応力向上訓練の実施
- 防災関連施設の使用訓練・点検・改善の実施
- 正確かつ迅速な情報通信網、的確な指示命令体制、公園間の連携体制等による強靱な防災公園間のネットワークの構築
- 造園緑化関連企業等との災害時協力体制の強化



<防災普及啓発>

- 防災イベントの実施や防災ショールームの開設、防災パンフレットによる、都民への防災公園の役割や「自助」「共助」力の普及啓発の強化

取組方針2 東京のシンボルパークとしての魅力向上

- 長年の公園管理のノウハウを活かし、公園の自然・文化・歴史的価値を高め、レガシーとして継承
- 首都東京の風格ある都市景観の形成に寄与する「パークビュースポット」を公園毎に定め、景観づくりを実施
- イベント等による公園の魅力づくりと地域活性化への寄与
- アシックス社等と連携して、多様なスポーツ・健康づくりの展開による健康増進ニーズへの対応と2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成

取組方針3 公園の魅力を保ち、利用促進を図る情報発信の強化

- オリンピック・パラリンピックを契機とした都立公園の魅力の一層のPRの実施
- 公園協会ホームページの改善による情報発信力の充実と公園の活性化の推進
- 近隣交通機関や公共機関へのポスター掲出やパンフレット配布の一層の拡充
- 「公園総合ガイドブック」多言語版の発行とHPでの発信
- 「公園からまちを周遊マップ」(多言語対応)を作成し、公園と地域の周遊利用を促進
- オリンピック・パラリンピックを契機として、公園サイン類の多言語化と改善を実施

取組方針4 安全・安心で快適な公園環境の確保

- 主要な公園施設等について長寿命化とライフサイクルコストを重視した予防保全型管理を実施
- グループ内共同作業の充実・発展による技能の伝承と効率的な維持管理の実現
- 樹木医による高度な樹木診断や樹木点検員による樹木の日常点検による安全・安心な樹木管理
- ホームレス対策や屋台監察等、公園適正化の一層の推進
- アメニティ巡回等による公園施設の安全点検、公園利用者への案内、利用指導等の継続実施
- 造園緑化・建設関係企業との連携による365日・24時間対応の安全確保体制の一層の強化

取組方針5 生物多様性保全に配慮した維持管理

- 「生物多様性保全戦略」に基づく計画的な保全管理・普及啓発を、NPO等との連携により実施
- 神代植物園・植物多様性センターで培った科学的知見や技術、大学や専門家との強固なパイプを活かした希少植物の保全等への取組

取組方針6 様々な主体とのパートナーシップの推進

- 公園を中心とした地域の魅力向上と活性化を図るため、様々な主体と連携した多様な魅力あるプログラムを実施
- 地域との連携による公園の安全・安心の取組や地域連携イベントの実施
- 公園で活動するボランティアと連携したパークモニター調査等、公園管理水準向上のシステムづくりの実施
- 地域住民と連携した公園の環境美化活動の推進

運営管理計画

(1) 首都東京のシンボルパークとしての魅力向上

- 代々木公園開園50周年記念イベント等シンボルパークにふさわしい大規模イベント等を実施
- 「東京SAKURAプロジェクト」によるサクラの名所の再生とPR

(2) オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ・健康・文化イベント

- 企業や団体と連携して、ジョギング・ランニング教室を開催する等地域住民の健康づくりに貢献
- パラリンピック機運を高めるためユニバーサルスポーツ大会を実施

(3) 自然とのふれあいや生物多様性保全の取組

- 鳥類園やバードサンクチュアリの保全・活性化、観察会等を実施
- 学校等と連携して雑木林保全体験を実施する等、生物多様性保全の普及啓発を実施

(4) 多様なライフスタイルに寄与するプログラムの展開

- 畑作や稲作の栽培体験や収穫祭の実施等により食育の大切さの普及啓発を推進
- 貴重な歴史遺産にスポットを当てたガイドツアー等を実施し、新たな魅力を創出
- 大学等と連携した「パーク・スクール」の開催等、趣味や生きがいの場を提供
- 美術館と連携し、野外アート展等を開催して公園の魅力を向上
- NPO等と連携し遊びながら学べる場の提供により子どもの健全な育成をサポート
- 公園の四季の花木の魅力を活かしたイベントを開催
- 町会等と連携して魅力的なイベントを実施し、地域の交流を活性化

施設維持管理計画

(1) 防災関連施設の維持管理

- ①施設の維持管理や操作方法等をまとめた「防災関連施設管理運用マニュアル」の策定
- ②発災時の運用を想定した定期点検、公園間の情報共有のための合同点検の実施
- ③的確な運用を可能とする各公園の職員・参集者による使用訓練の実施
- ④住民の使用を想定した地域連携訓練の実施や、防災関連施設の使用説明看板の設置

(2) その他の公園施設の維持管理

<安全・安心・快適性を常に追求する計画的な維持管理>

- ①PDCA サイクルにもとづく計画的な維持管理（予防保全的観点での維持補修）
- ②新たに「公園クイックナビ」（GPS）を活用した迅速・的確な維持管理

<公園をレガシーとして未来に継承する上質な維持管理>

- ①首都東京のシンボルパークの顔となるパークビュー等の景観形成を考慮した維持管理【パークビューの例】

光が丘のイチヨウ並木	水元公園のハナショウブ	葛西臨海公園の大規模花壇
		

- ②ユニバーサルデザインに配慮した維持管理（外国人向け多言語対応サインの充実等）
- ③効率的で良質な維持管理（特約店の活用・近隣共同作業による質の高い維持管理）

<多様な主体と連携・協働した効果的な維持管理の推進>

- ①新技術活用判定会議を活用した新技術の導入等による効果的な維持管理
- ②花壇管理などボランティアや住民等との協働による維持管理の推進

<緊急時における迅速・円滑な対応>

- ①事故や故障に備え特約店と連携し、24時間365日緊急対応可能な体制を確保
- ②台風や集中豪雨時には、「公園別ハザードマップ」を活用した災害防止対策を実施

(3) 事故や災害、感染症等を未然に防ぐ安全対策と発生時の対応

<危険箇所や要因の早期発見と対応>

- ①日常点検等の強化（アメニティ巡回、桜花期等繁忙期の重点警備）
- ②協会樹木医による樹木診断や公開樹木診断、樹木点検員による点検、マツ枯れ防止等
- ③電気設備の法定点検、遊具の定期点検と精密点検、水遊び施設の常時監視等

<気象災害に対する備えと対応>

- ①台風大雨に備えた緊急配備体制の確保、(株)ウェザーニューズ社との契約による異常気象情報の早期収集と活用、気象災害時の特約店対応

<デング熱等感染症等への事前の備えと対応>

- ①蚊の発生しやすい側溝の清掃や藪の除去、薬剤等の事前確保、抑制剤散布等実施
- ②発生時には都と連携した薬剤散布、状況に応じた施設閉鎖、利用者広報等を実施

防災業務計画

(1) 大規模救出救助活動拠点確保の取組

- ①活動拠点確保の対処手順をまとめた「公園別震災時対応マニュアル」の改訂
- ②発災時の具体的な連携体制や役割分担に係る東京都との協議の推進

(2) 避難場所確保等に係る取組

- ①区市との防災協力協定締結の推進と「防災ホットライン」の構築
- ②防災訓練に参加する連携先の拡大と訓練内容の充実
- ③新たに地域との連携強化のための「公園防災推進委員会」の開催

(3) 公園管理者としての防災力向上の取組

- ①防災訓練結果を反映した震災対応マニュアルの更新・改善
- ②発災想定を変えた実効性の高い防災訓練の実施
- ③震災時の通信手段の複数回線化、インターネット接続体制の強化
- ④公園間の相互支援体制と強固な情報網を堅持し、代々木・水元を拠点とする区部及び小金井を拠点とする多摩部ネットワークを強化

(4) 普及啓発の強化

- ①防災公園独自のHP（多言語版）の開設
- ②木場公園への「公園防災情報館」新設
- ③「防災公園総合ハンドブック」（多言語版）を新規作成
- ④「子供向け防災公園ハンドブック」作成、防災訓練参加者を「子ども防災公園博士」に認定

オリンピック・パラリンピックを契機とした公園の魅力向上の取組

<おもてなし・窓口サービスの充実>

「公園コンシェルジュ」の任命、英会話フレーズ集の活用、ウェルカム情報ボードの充実、無料Wi-Fiの設置

<公園で「花と緑のおもてなし」>

「公園でおもてなし花壇」の設置、ミニガーデニングショーの実施、大規模な緑のカーテンの設置

<和の文化発信イベント等による賑わいの創出>

江戸園芸植物の展示、野点や和太鼓演奏等の和のイベント開催、こいのぼりや七夕飾り等の日本の伝統的な演出

<公園から世界への情報発信の強化（多言語化）>

HP、園内サイン等の多言語化、スマートフォン等のセルフガイドアプリの開発

<オリンピック・パラリンピック機運の醸成>

オリンピック・パラリンピック記念イベントの開催、HPや広報誌等で特集掲載

<公園におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進>

オリンピック・パラリンピック会場付近の公園で関連イベントや企業・団体等と連携したスポーツ教室、ユニバーサルスポーツ大会の開催

<レガシーを未来に>

会場や関連施設となった公園で開催後も関連スポーツイベントや関連品の展示を実施

